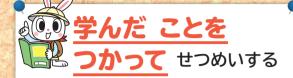
# 

## いつも つかう 考え方

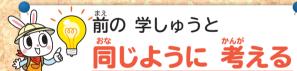


まるい ところが なくて、細長い。



だから、 はこの形です。

前に 学しゅうした ことを つかって せつめいできた。





長さくらべは はしを そろえた。



ひろさも 筒じように はしを そろえて、考えた。

# かいくつも しらべて できまりを 見つける

一番 上の れつは 右に いくと 答えが Iずつ 大きく なる。

1+4 2+4 3+4 4+4 5+4 6+4 1+5 2+5 3+5 4+5 5+5 1+6 2+6 3+6 4+6

ほかの れつも 同じかな。

いくつかの れつを しらべて、 きまりを 見つける ことが できた。

## **⑥** ほかの 場合は どうかなと、 学しゅうを ひろげる





何十の たし算を 学しゅうした。

50 - 30 も できるかな。

何十の ひき算も 考えたいと 学しゅうを ひろげた。

## もんだいごとに つかい分ける 考え方

# ひらめきアイテム

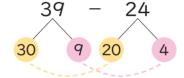
前に 学しゅうした ことが つかえるように、 ア分ける



$$30 + 20 = 50$$
 $4 + 5 = 9$ 

10の まとまりと ばらに 分けて考える。





$$30 - 20 = 10$$
 $7 - 4 = 5$ 

10の まとまりと ばらに 分けて考える。

#### ● つかい方

● 🎤の マークが ある ところは 📗 ひらめきアイテムが つかえる ばめんの れいだよ。 この ページを ヒントに して 考えても いいね。

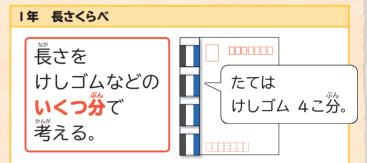
② 右の マークが 出てきたら、

**☆ 分ける・**p.247

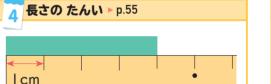
この ページに p.247、p.249の シールを はろう。これまでの 学しゅうで つかって きた アイテムとの つながりが わかるよ。

もとに する ものの、

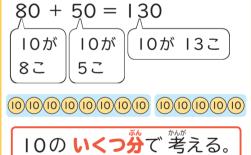
**グいくつ分で** 考える



5 100より 大きい 数 ▶ p.78

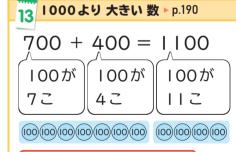


長さを、Icmの いくつ分で考える。

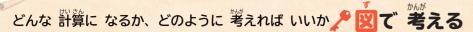




かさは、たんい(IdL)の いくつ分で考える。

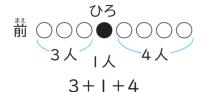


100の **いくつ券**で 考える。



#### |年 図を つかって 考えよう

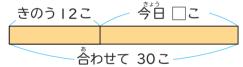
ひろさんの 前には 3人 います。後ろには 4人 います。みんなで 何人 いますか。



ばめんを <mark>図</mark>で あらわすと、 どんな 計算に なるか わかりやすく なる。

#### **1/1** たし算と ひき算の かんけい ▶ p.197

きのう あきかんを 12こ あつめました。今日も 何こか あつめました。合わせて 30こに なりました。 今日は 何こ あつめましたか。



30-12

▼で 考えると、たし算に なるか、ひき算に なるか わかりやすく なる。

## べつべつの ものを / 同じと みる

### **8** たし算と ひき算の ひっ算 ▶ p.121

 $\begin{array}{rr}
34 & 327 \\
+25 & +68 \\
\hline
59 & 395
\end{array}$ 

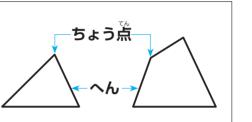
数が 大きく なっても、数が 小さい ときと **同じ**ように ひっ算で 計算できる。

# プ形の 見方



形の 学しゅうを する ときに、これらに 目を つけて、なかま分けしたり、 とくちょうを しらべたり すると いいよ。

#### 三角形と 四角形 ▶ p.127



三角形や 四角形の まわりの 直線を へん、かどの 点を ちょう点と いう。

2年 へん ちょう点

#### **三角形と 四角形** ▶ p.129



上のように おって できた かどの 形を 首角と いう。

#### 2年 <sup>5&つ かく</sup> 直角

#### **ラ はこの 形 ▶ p.219**



はこの 形の たいらな ところを <mark>前</mark>と いう。



新しく アイテムを つくって、 ここに つけくわえても いいね。